

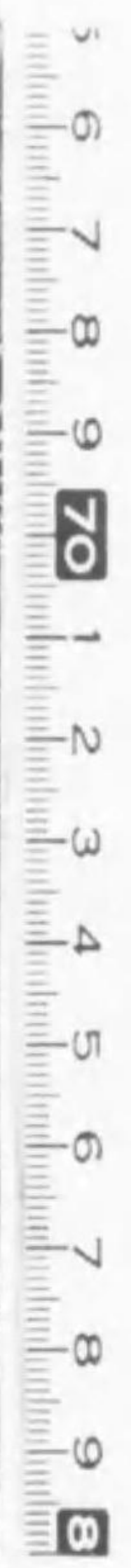
特 383
#268-383
1200931126082



303
739

三三寫真帖

第一輯



始



ニコく寫眞發行の辭

吾人は常に目に邪氣を見ず耳に淫聲を聞かず
 といふ消極的注意の必要なると同時に、又一方
 有益の書を讀み有益の道話を聞き、秀麗なる自
 然に攝して積極的に精神を修養慰安する事を
 忘るべからず。此ニコく寫眞帖の如きも、此意
 味よりして見れば、單に珍奇也美麗也といふ以
 外に觀者を益する事尠からざるべし。是本社が
 特に雜誌「ニコく」の姉妹篇として本帖を江湖
 に薦むる所以也

ニコく俱樂部

大正
1. 9. 21.
内交

ニコく 寫眞帖 (第一集)

目次

- ▲ニコく し給ふ閑院宮妃殿下……………毛利公
 侍母堂……………鍋島侯爵夫人……………(一)
- ▲ニコく 俱樂部會頭牧野元次郎氏……………(二)
- ▲ニコく 座右銘……………(二)
- ▲ニコく 大黒天神像……………(三)
- ▲川端玉章翁筆ニコく 大黒天……………(四)
- ▲安田善次郎翁筆ニコく 大黒天……………(四)
- ▲桂公府邸に於ける外遊紀念の寫眞……………
 井上侯……………寺内伯……………川村大將のニ
 コく……………(五)
- ▲山本大將……………伊東大將……………井上大將……………(六)
- ▲東郷大將のニコく……………(六)
- ▲寺内朝鮮總督のニコく……………(七)
- ▲後藤男爵のニコく……………(八)
- ▲齋藤海相……………仁禮子爵……………豊川良平
 氏のニコく……………(九)
- ▲澁澤男爵のニコく……………(一〇)
- ▲安樂警視總監のニコく……………(一一)
- ▲森村市左衛門翁のニコく……………(一二)
- ▲怪傑頭山滿翁のニコく……………(一三)
- ▲大倉喜八郎翁のニコく……………(一四)

- ▲日本銀行總裁高橋是清男のニコく……………(一五)
- ▲十五銀行頭取園田孝吉君のニコく……………(一六)
- ▲安田善次郎翁のニコく……………(一七)
- ▲阪谷東京新市長のニコく……………(一八)
- ▲衆議院書記官長林田龜太郎君のニコく……………(一九)
- ▲博文館の三人物……………(二〇)
- ▲財界の風雲兒……………根津嘉一郎君……………(二一)
- ▲神田鏞藏君のニコく……………(二二)
- ▲豊國銀行頭取貴族院議員濱口吉右衛門氏のニコく……………(二三)
- ▲北濱銀行頭取岩下清周君のニコく……………(三四)
- ▲ニコく會頭と中鉢評議員のニコく……………(三五)
- ▲慶應大學長貴族院議員鎌田榮吉君……………(二五)
- ▲福本日南君のニコく……………(二六)
- ▲陸軍々醫總監醫學博士文學博士森岡外君のニコく……………(二六)
- ▲樞密院顧問官法學博士文學博士勇爵加藤弘之氏のニコく……………(二七)
- ▲前東京市長憐堂尾崎行雄君のニコく……………(二八)
- ▲後藤男送別會の名士……………二七會員のニコく……………(二九)
- ▲與謝野晶子女史……………石井勇君……………日下部鳴鶴翁……………伊藤松宇氏のニコく……………(三〇)
- ▲海老名彈正氏及森岡外氏の家庭……………(三一)
- ▲鳩山春子女史……………跡見花溪女史のニコく……………(三二)

- ▲棚橋絢子女史……………三輪田眞佐子女史のニコく……………(三五)
- ▲目賀田男爵夫人逸子女史のニコく……………(三四)
- ▲ニコく俱樂部評議員小野寺瀧次郎氏の家庭及び牧野會頭の家庭……………(三五)
- ▲ニコく評議員のニコく……………(三六)
- ▲ニコくデーに於ける文士のニコく……………(三七)
- ▲其日庵に於ける二名士……………後藤男龜井前警視總監のニコく……………(三八)
- ▲林田翰長と令息令嬢……………牧野會頭の令息令嬢……………(三九)
- ▲天國……………無邪氣な小兒のニコく……………(四〇)
- ▲柴田環女史 新橋花月女將、女優泉龜代嬢のニコく……………(四一)
- ▲安樂警視總監令孫徳郎君のニコく……………(四二)
- ▲横綱と關脇のニコく……………(四三)
- ▲家庭に於ける森律子嬢……………(四四)
- ▲帝劇女優の花……………(四五)
- ▲繪像の傍でニコく呂昇……………(四六)
- ▲物いふ花のニコく……………(四七)
- ▲天真爛漫—高輪幼稚園生徒のニコく……………(四八)
- ▲無心のニコく……………(四九)
- ▲ニコく丸の案内員……………(五〇)

榮光の部樂俱コニコニ

ニコく倶楽部の爲めに特に御撮影の御聽許を得たるもの也



ニコく寫眞帖

(1)

(人夫爵侯島鍋) (下殿子惠智妃宮院閑) (堂母爵公利毛)

Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.



ニ
コ
く
寫
眞
帖

(三)

(景光の祀祭のそと天黒大の祀奉上樓部樂俱コニコニ)

畫 名 一 二 三 四



川端玉章畫伯が香牧野會頭に寄せられたるニヨク大風天

安田勤儉翁が香牧野會頭に寄せられたる大風天

(四)

祐眞寫ヨニヨニ

三田臺上桂公邸出發紀念のニコニコ

桂公爵、外遊出發に際し特に吾ニコニコの爲めに撮られたる紀念撮影なり



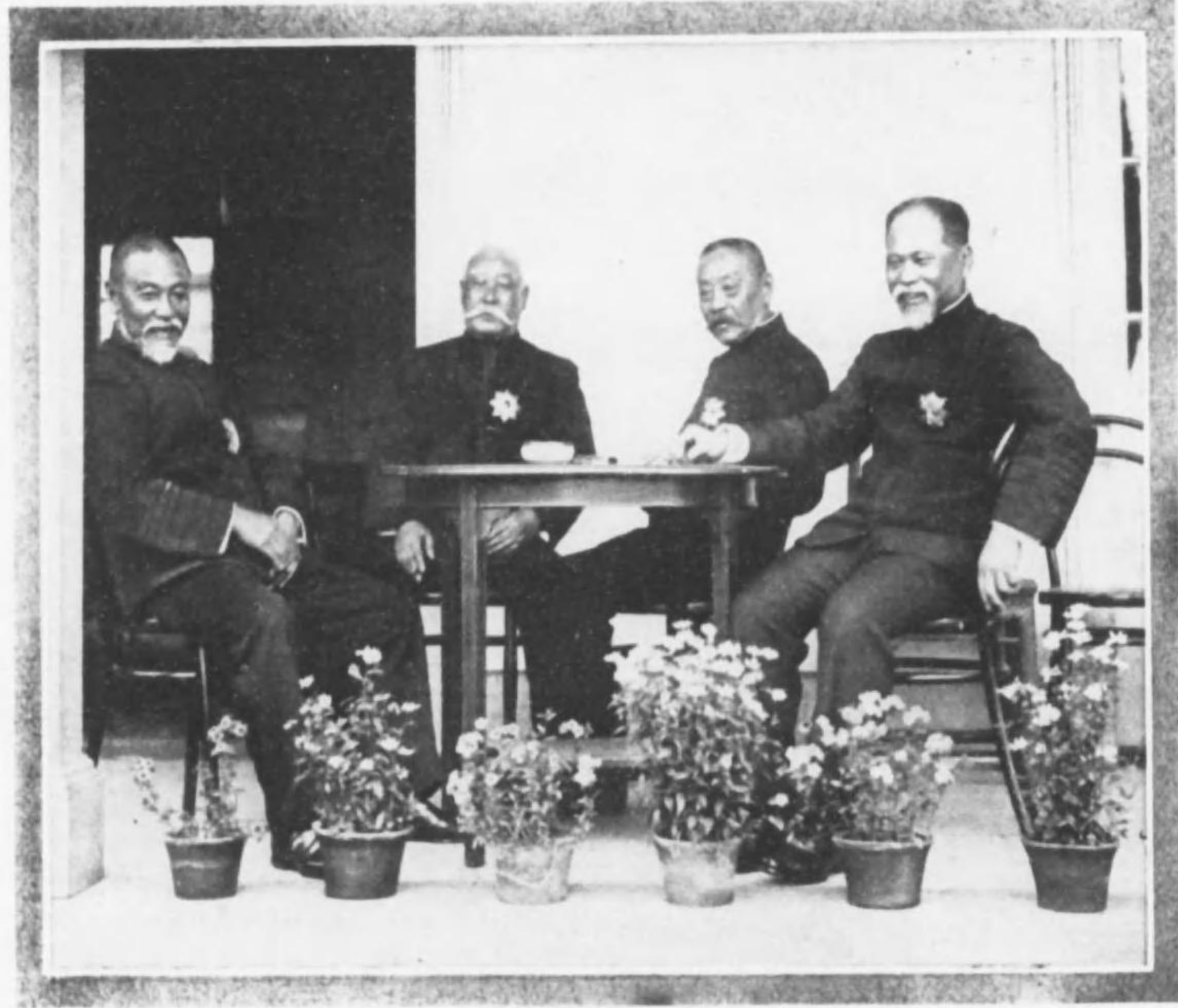
ニコニコ寫真帖

(五)

桂公爵 井上侯三郎君 桂加那子夫人 井上侯爵 桂五郎君 (右よりつ向)
 桂一興君 大島大將 大島夫人 寺内朝鮮總督 桂公讓須磨子 井上侯千代子

將 軍 の 笑 顔

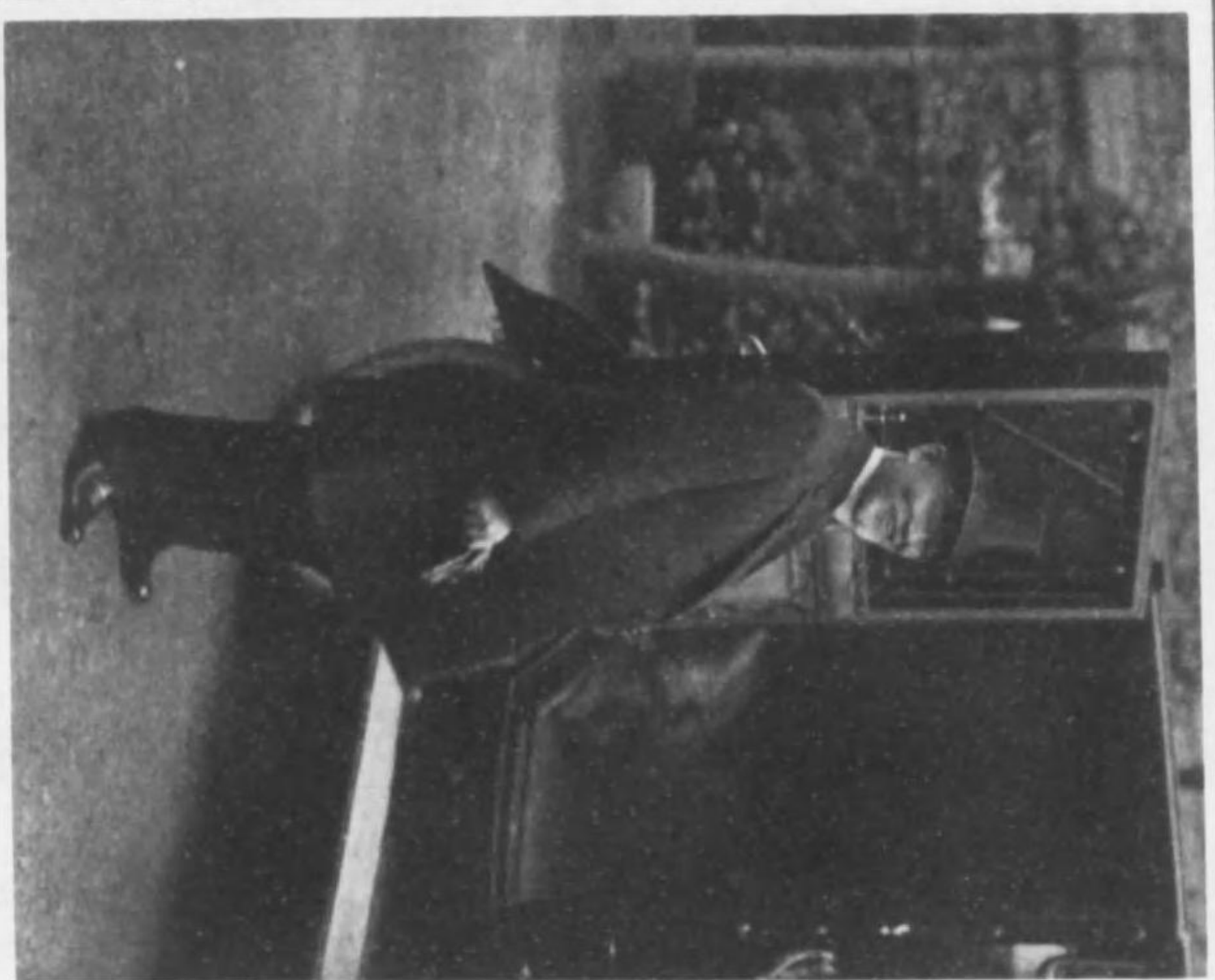
珍
中
の
珍



ニ
コ
く
寫
眞
帖

(六)

將 大 鶴 東 將 大 上 井 將 大 東 伊 將 大 本 山



ニヨク宮舞帖

八

君平新藤後爵男問願舉名部樂俱ヨニヨニ

今や外遊の途にあり、到着はニヨクとしてそのお土産は今より期待すべしである



(平 良 川 豊) (爵子禮仁員謙評ヨニヨニ) (爵男藤齋相海)

場所は高橋仁爵邸、その間接なる藤齋相のニヨク、實に敬仰すべきでないか

ニヨク、寫眞帖

財界巨人のヨニコヨ



青洲百話に依つて七十五年の生涯を語りてニコくせる青洲先生

(男爵澁澤栄一君)

人 聖 の 界 財



モリ 左衛門 翁

(11)

老練を顯つて海外貿易の發展に日復慮心する、人格と財界の聖人である

(翁 門 衛 左 市 村 森)



この秘瀆園に遊び孫逸仙と會見して歸來、默々何か有言きつゝある頭山翁



翁曰く、俺までニコ／＼引張り出すのかワム……………

(三一) 佐真寫ヨニヨニ

(君満山頭傑豪の下天)

人 巨 の 界 財



一介の億夫より身を起し巨萬の富を増して現代財界に雄飛せる大権力家、大倉國彦翁の勇健なるニコノを見よ

ニコノ 宮 異 帖

(一四)

(翁 郎 八 喜 倉 大)



(君清是橋高爵男裁總行銀本日)

小さい時亞米利加で叔議に當られたのには中央銀行の總長

ニヨク寫眞帖

(二五)

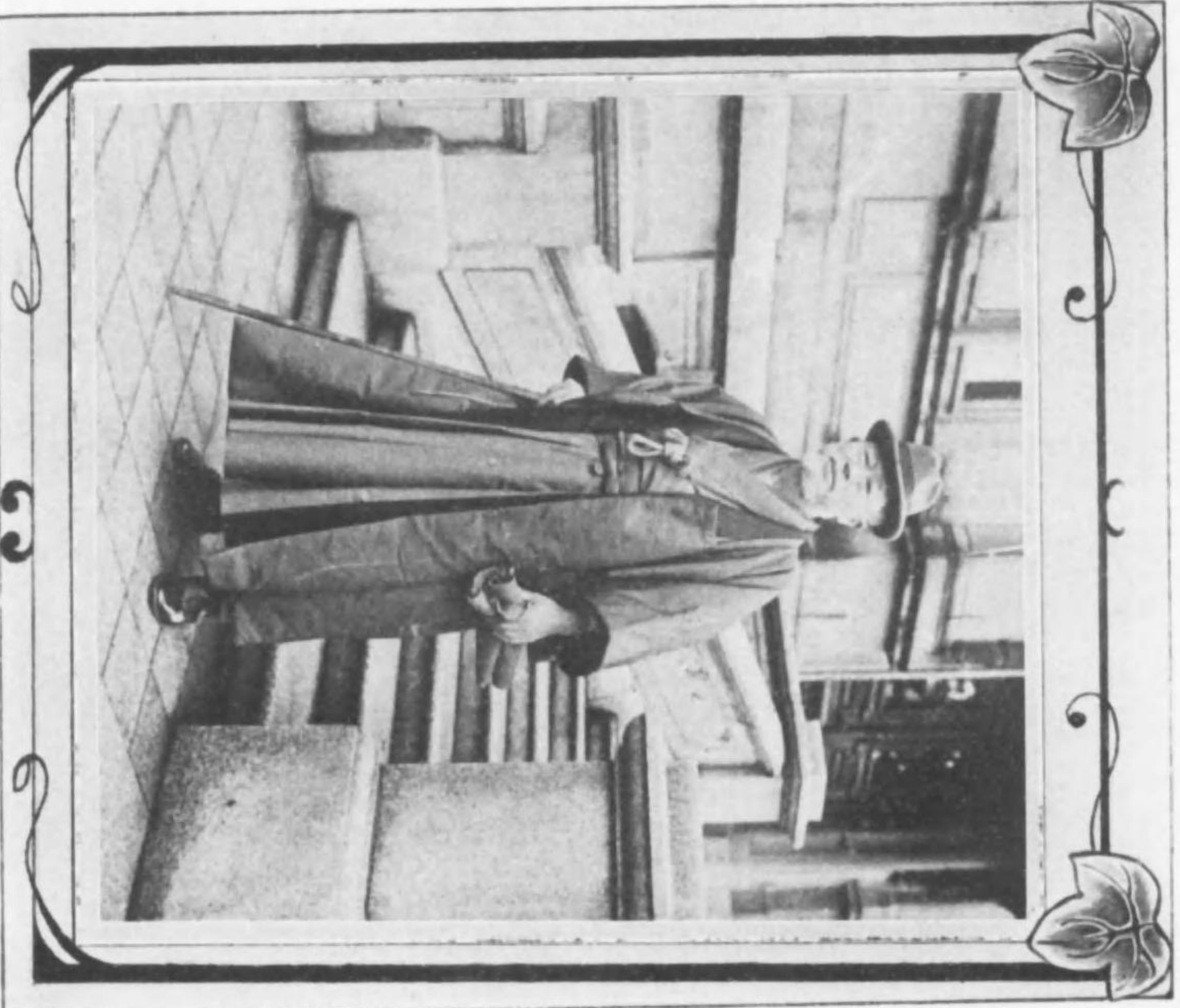


ニヨノ宮様

(一六)

十五銀行頭取園田孝吉氏守や馬車を驅らんとして

行 力 儉 勤



安田翁の經歷は世人の知る處なれば有るが如

(翁 郎 次 善 田 安)

ニヨク 寫眞帖

(一七)



(男 郎 芳 谷 阪 長 市 新 京 東)

前の大蔵大臣で今の東京市長ヨコとして圓藏の君子其手腕と人格の活潑なる何人々試問する處如新長市長を得たる
東京市民は幸なるかな

一ノ宮 舞 帖

(一六)

書齋に於ける翰長



至誠格勲衆議院書記官長として二十三年の永く其椅子を離れず上下の人望頗る厚く、君爵斗の如く加之に高麗産物を飾りて豪放不羈一世の人氣男にして及者ニコノの評議員である

ニコノ室具帖

(一九)

(衆議院書記官長林龜太郎君)

博 文 館 の 三 人 物



右方圓形中の右は太陽主幹淺田江村君

左は坪谷水哉先生である

ニ
コ
く
寫
眞
帖

(二〇)

(生先波小谷巖建友おのンヤチ坊ンヤチ嬢んさ父伯の部樂俱御お)

財界の風雲児



(君郎一嘉津根長事理所引取穀米)



(君藏鐘田神取頭行銀屋業紅)

ニ
コ
ノ
寫
眞
帖



ニ
コ
ノ
寫
眞
帖

(111)

(君門衛右吉口濱取頭行銀國豐)

財界の快傑



目下桂公後藤男と共に外遊中である

(北濱銀行取岩下清周君)

(三)

ニキノ寫眞帖



(員議評録中と長會コニコニ野牧)

ニコくとして人生に處しニコくとして希望し活潑に實に愉快主義であるまいか……

ニコくニ野

(三四)

學界の恩人

日南氏曰く古今の豪傑は皆ニコくものだよ

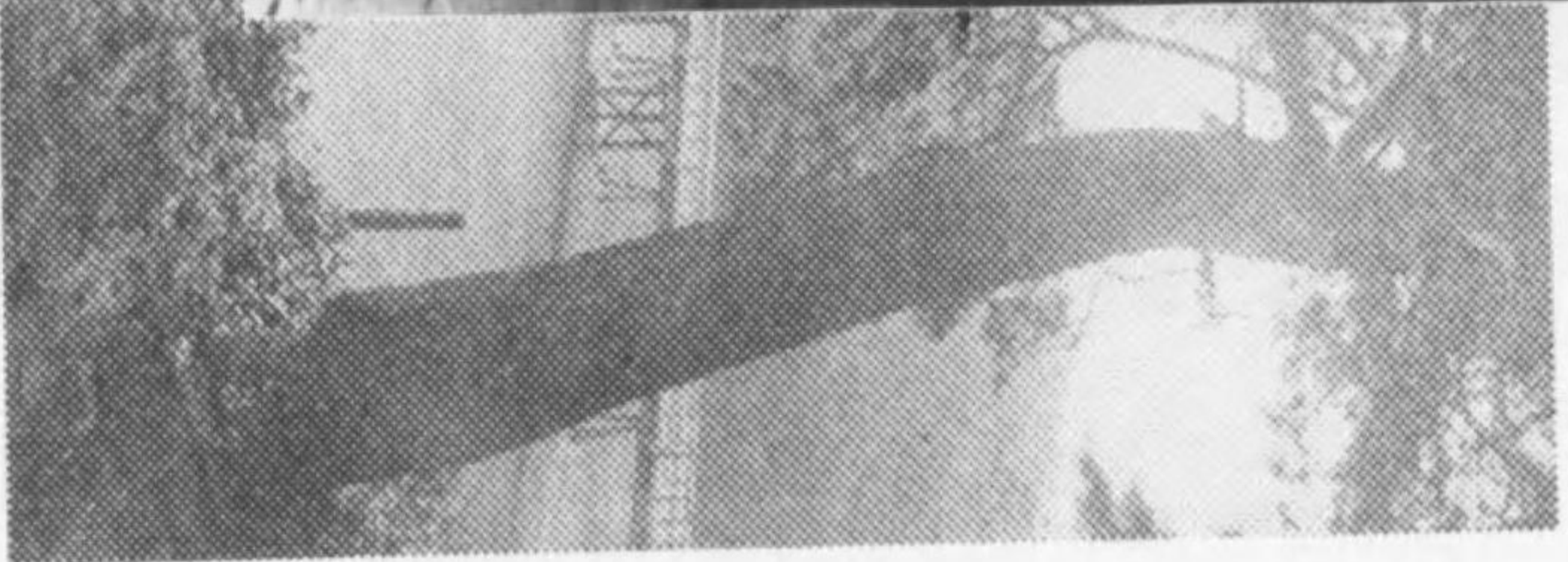


館田氏曰く日本人は冠履を振るのに仔細をすまして不可んネーニコく冠履帖(二五)

(福日本南君)

(慶應大學長兼田榮吉君)

學 兵 の 壇 文



三ノコノ
寫眞帖

(三六)

(君郎太林森士博學文士博學醫監總醫々軍陸)



(氏之弘藤加 主博學菱 爵男問顯院密樞)

二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十



ニコノ宮前

(三六)

昨今輕井澤にラオワラ夫人とニコノとして滞在申である

(君雄行崎尾長市京東前)

濱町岡田に於ける七會後藤男送別會



左方扇面持てるは吉村職之助氏と小池國三氏

右方青山謙三氏と松永敏太郎氏

(二九)

氏顯義本濱 氏銅野星 氏郎三登茂楢 爵男藤後 氏郎次元野牧 氏吉正谷遠 氏郎一嘉津根 右面正
氏衛兵大川前 氏大真道大 氏郎三榮原杉

詩人墨客のミニミニ



(新派歌壇の明星宮井勇君)



(新派歌壇の明星與謝野晶子女史)



(俳句界の耆老伊藤松子先生)



(書道の大家日下部鳴鶴先生)

泉 源 の 福 幸



(ニコくせる海老名弾正君の家庭)



(家庭に於ける森岡外君の母堂及夫人しげ子女史)



船 真 窟 コ = コ =

名 流 婦 人



多年教育の功により此程勳六等に叙せられたり

(史女溪花見跡長校學女見跡)

(史女子春山鳩)

心機一轉、再び身を教育界に投じて女子教育に盡瘁されつゝある鳩山女史 (三三)

叙 勳 二 女 史 の 歡 喜

(三輪田女學校長 三輪田眞佐子女史)



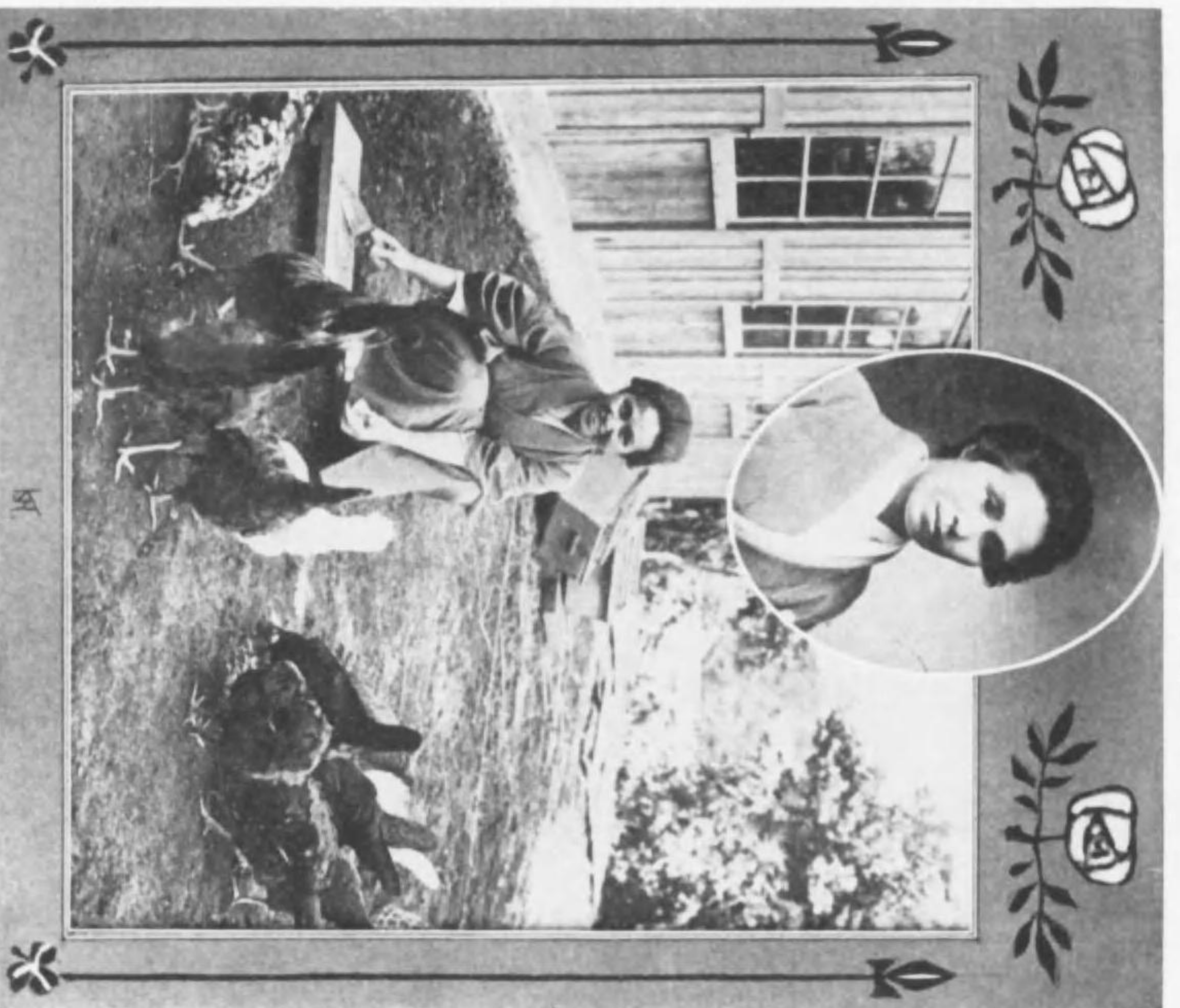
(東京女學校長 棚橋絢子女史)

ニヨク寫眞帖

(三)

(コヨコヨの史女兩の時るたれち授を章冠寶等六勳りよに勞功るけ於に界有教年多)

名流夫人のニコニコ



此の目賀田男夫人と大山按松夫人、後藤和子夫人の三方を賞贈人外の豊竹組といふ、ウツルヤとして其致し心豊竹も割りたる程知ればなるといふ

ニコニコ宮眞帖

(三四)

(史女子逸人夫郎太種田賀日爵男)

會餐晚の員議評コニコニ



(後列、右より松永理事、梅小路子爵、壹岐宮氏、中村閣夫氏、犬塚武夫氏、久保田堅次氏)

(氏靖村木) (氏道兼樂安) (頭會野牧) (氏郎次藤寺野小)



(ニコく俱樂部外觀)



ニコく寫真帖

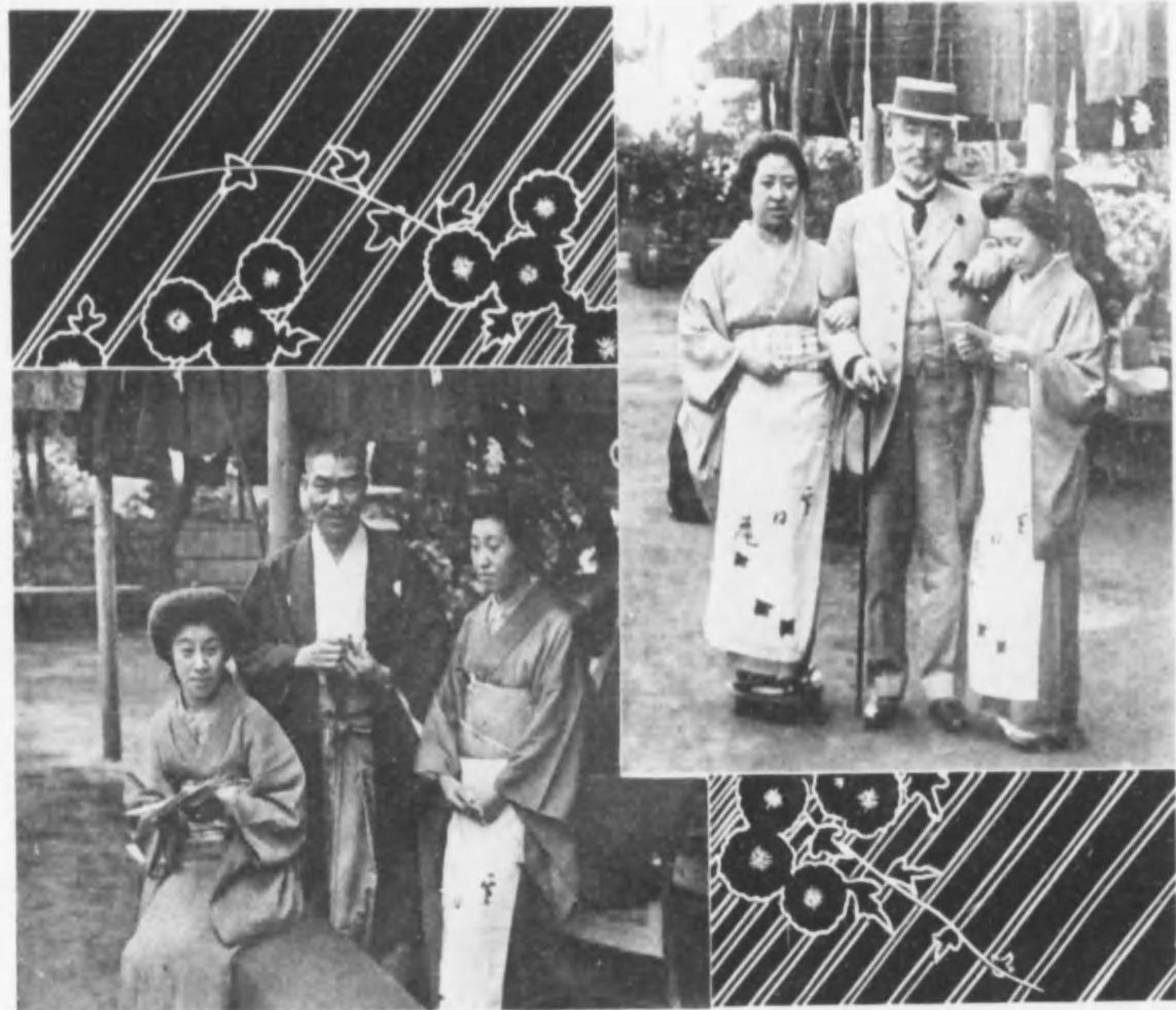
君南河本増 君三得瀬佐 君次義賀氣 事理ニコニコ永松 西ニコニコ門桑 君浪途野矢 君シタララ山松(より右列後)
 君嶽竹田松 君村花原普 君羊一原萩 君松本松 君宇松藤伊 君水鏡塚蓮 君民天崎松 君峰米島高 君舟起岡山 君霞境關井

(離かけて居る人右より) 浅田江村君 黒田洲山君 生田泰山君 右樂座支配人新鬼去秀君
 吉井勇君 牧野會頭 松居松葉君 水谷幻花君 黒田撫泉君 ニコニコの紳生



プランタンに於けるニコニコデー文士のニコニコ

其日庵に於ける名士のニコニコ



後藤男爵のニコニコ

龜井前警視總監のニコニコ

(八三)

ニコニコ名刺

小 学 生



三九 (三九) 返持帖



(上圖は林田節長とその令息、令嬢)
(下圖は牧野會頭の令息、令嬢)

天 園



コ
ン
ナ
可
愛
い
子
供
の
あ
る
家
庭
は
幸
福
な
る
か
な

ニ
コ
く
寫
眞
帖

(E0)

明 眸 一 轉



(帝國劇場付女優泉鏡子代演のニコク)

(柴田環女史のニコク)

ニコク 寫眞帖

(四一)

(ニコニコの若女月花橋新)

笑の心無



ヨネミツ 喜津 幸

(四三)

伯父さん、扇屋は一名「なんやろ」といふのよ、たせです、たせよ、これに手でもついたら怪我するから
扇屋だないかとヨネミツく

(ヨネミツの君師徳孫令監總映喜樂安)

品 一 下 天



ヨイショと土俵に立つ時は鬼神をも挫きの勢があるが斯うニコくした處を見ると泣いた兒も笑ふであらう

ニコく 宮 眞 帖

(山田)

(關 汝 朝)

(門衛右谷山陸常綱横)

子律森優女るけ於に庭家



(子 律)

(氏 肇)

(律子の幼時)

ニヨク寫眞帖

(四)

帝 劇 女 優 の 花

眞子は帝劇式女優で、嘉久子は久米八式女優であるとの評判がある、彼はハイカラで此は温しい處女の風がある



(嬢子久嘉田村)

(嬢子浪瀬初)

ニ
コ
く
寫
眞
帖

(四五)

繪像の傍にニコニコ呂昇



四十二歳ですが、見た虚實に若いぢやありませんか、此種お顔さんを買ったさうです

ニコニコ宮真帖

(四六)

漫 爛 眞 天



ニ
コ
ク
寫
眞
帖

(四八)

(徒 生 の 園 稚 幼 輪 高)



モモモの心無

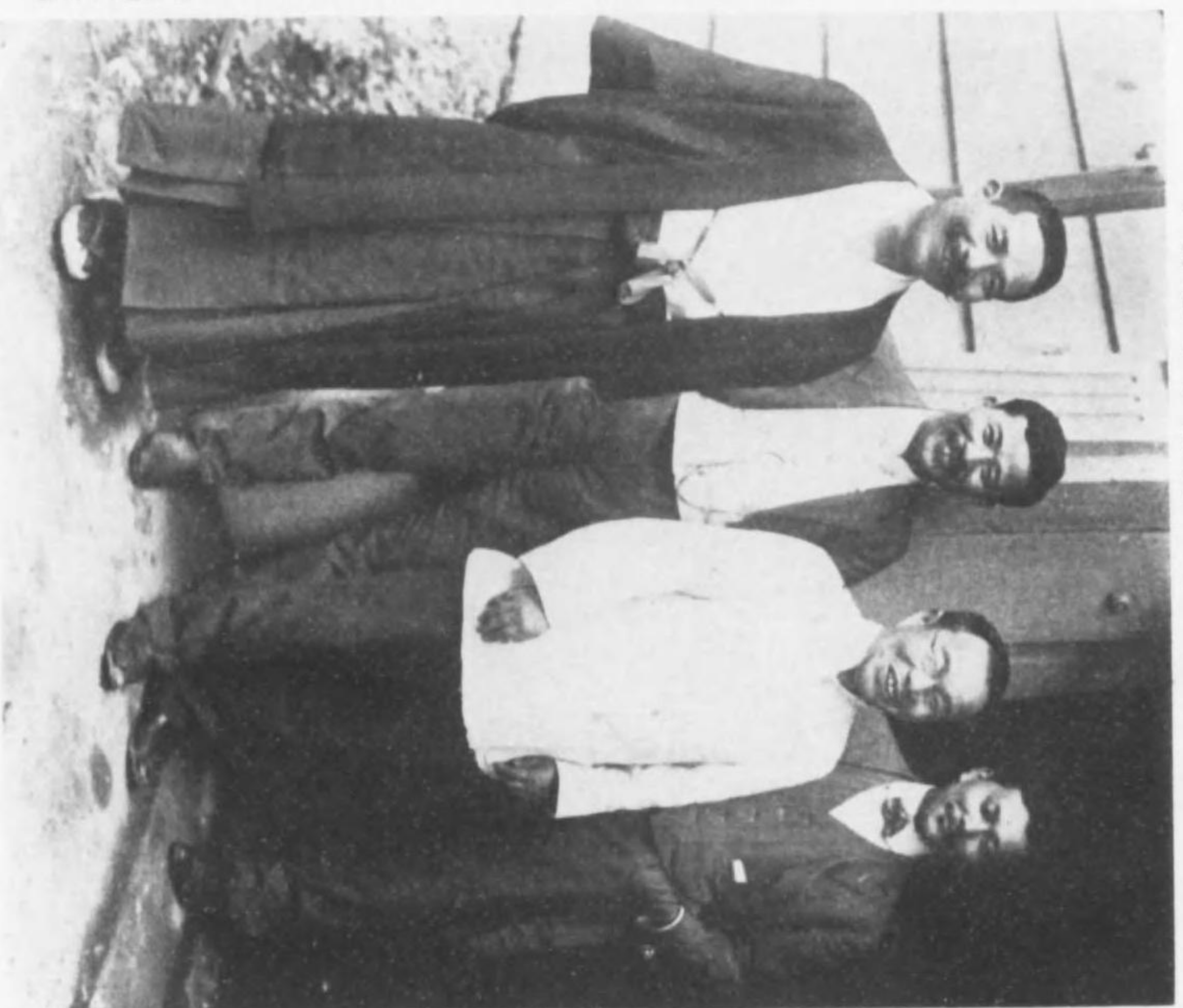


ニヨク
〜 敬舞帖



ちや子供の愛可の處何

(四九)



手 轉 運 と 手 關 機 の 丸 コ ミ コ ミ

(生 門 翁) (生 永 松) (八 主 亭 竹) (生 倉 長 紳)

牧野會頭を載せて常にニコくの懸架、發成に目を見れば足らざるニコくの同人、即ちニコくの機關手、深轉手
で白紙のニコくは偶々集合したる社友福長村亭先生なり

ニコく 寫眞帖

(五〇)

福良竹亭先生著製本出来

●定價一冊送料共二十錢
●郵券代用一割増
●會員には規定の割引を致します

新刊

ニコく旅行

會員割引規定
△普通三割引
△特別五割引
△名譽無代贈呈

- ニコく旅行目次
- ▲三島醫の來歴 ▲羽衣傳説の分布
 - ▲新橋より三島迄 ▲三島より吉原迄 ▲羽衣の松
 - ▲三島名物 ▲寺の門に梅 ▲三保のお料理
 - ▲噂天下の歴史 ▲富士アイヌ陽石 ▲船中で龍の講釋
 - ▲芹と ▲水 ▲大宮の半日 ▲掛川越の蕪蹟
 - ▲三島神 ▲幽霊の足跡 ▲閻魔の首級 ▲歌人と科學
 - ▲陰陽道の流行 ▲静岡の名物 ▲戦勝觀音
 - ▲惠比須様と草鞋 ▲お城の側面觀察 ▲噴霧の井戸
 - ▲三島女 ▲郎 ▲名譽ある監獄 ▲靜かなる掛川町
 - ▲雲助と馬子 ▲長閑な三保の松原 ▲旭山の黄金探檢
 - ▲眞淵と熊野 ▲眞淵翁の蕪宅 ▲熊野の墓
 - ▲梅屋の庄さん ▲日英合資の鐵工場 ▲妄想よき細君の案内
 - ▲閻魔堂に小豆枕 ▲謡曲式の道行 ▲觀世自筆の謡曲
- 面白くて趣味のある可愛い本です！
▲涼しいお座敷で靜の聲をきながら此本を讀んだらどんなに愉快でしょう！
▲避暑旅行をなさる時窓から入つて來る涼しい風に吹かれながら汽車の中で此本を讀んだらどんなに涼しいでしょう！
▲避暑地の無聊に苦しむ人々に此本はどんなに重寶がられるでしょう！
▲成るべく多くの人に讀んで頂くつもりで定價も僅か敷島二箇の價にしか當らぬ最廉のものに致しました、これは我俱樂部の讀者に報ゆる寸志であります。

發行所

東京新橋南金六町十五番地

ニコく俱樂部

電話新橋三三二二九八
振替貯金口座東京一四九四八番

終

